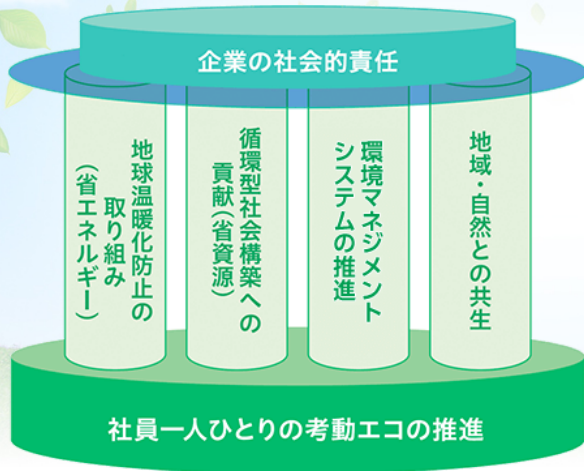


地球環境問題に対する基本的な考え方



JR西日本は、
グループ会社と一体となって
地球環境保護に取り組み、
持続的発展が可能な
社会の実現に貢献します。

行動指針

- I. 私たちは、地球環境にやさしい企業グループを目指し、資源の適正かつ有効な活用を図ります。
- II. 私たちは、地球環境保護のために、技術開発や創意工夫に努めます。
- III. 私たちは、常に地球環境保護を意識して行動します。

生物多様性保全の取り組み

- I. 事業活動で生態系への影響を低減する取り組み
- II. 生物（植物）の潜在能力との協働

SDGsへの関心が高まり、企業の事業環境が大きく変化する中で、2020年にはパリ協定の本格運用が開始され、エネルギー、資源、生物多様性など地球環境保護にかかわる課題に対する、企業の主体的な取り組みが求められています。今後、2025年大阪・関西万博を契機に、関西エリアを中心とした環境先進志向と、企業の環境対応への要請が一層高まることが想定されます。

鉄道は他の交通機関に比べエネルギー効率が良く、地球環境に優しい乗り物ですが、脱炭素社会、循環型社会への移行の加速に伴い、多くのエネルギーを使用して交通サービスを提供する当社グループの責任はますます大きくなっています。また、昨今の激甚化する自然災害への対応、サステナブルな資源の有効活用など、事業の持続にかかわる顕在化した環境課題に対して、グループ全体としてその解決に努めなければならないと認識しています。

一方で当社グループには、地球環境への負荷が少ない鉄道をより多くのお客様に選択いただくことで、交通ネットワーク全体のCO₂排出量の削減に貢献できる強みがあります。グループ一体となって地球環境保護に取り組み、持続的発展が可能な社会の実現に貢献していきます。

鉄道車両をはじめ駅設備などのさらなる省エネルギー化や列車運行時の省エネルギー運転の推進、循環型社会の構築に向けた従来のリサイクルを中心とした取り組みに加え、食品ロス削減などごみを減らす取り組みを進めています。また、事業活動による自然や生態系への影響の抑制に努めるなど、「JR西日本グループ中期経営計画2022」に併せて設定した環境目標達成に向け、着実に取り組みを進めています。

引き続き、環境目標を着実に達成していくことはもちろんのこと、今後は、より長期的な目標や戦略の策定、サプライチェーンにおける環境配慮の深度化が課題であると認識しています。中長期的な気候変動を考慮した「緩和」※1と「適応」※2に向けた取り組みや、サプライチェーンまで含めた脱プラスチック、食品ロス削減などを通じた循環型社会への貢献を推進していきます。コロナ禍を経て、新常态への変容が進みつつあります。次なる30年に起こり得る事業環境の変化を見据え、今後も当社グループの強みを活かしながら、事業活動を通じた地球環境の保護、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※1「緩和」：温室効果ガスの排出削減と吸収の対応を行うこと

※2「適応」：気候変動による影響の防止・軽減に向けた備えと新しい気候条件の利用を促進すること

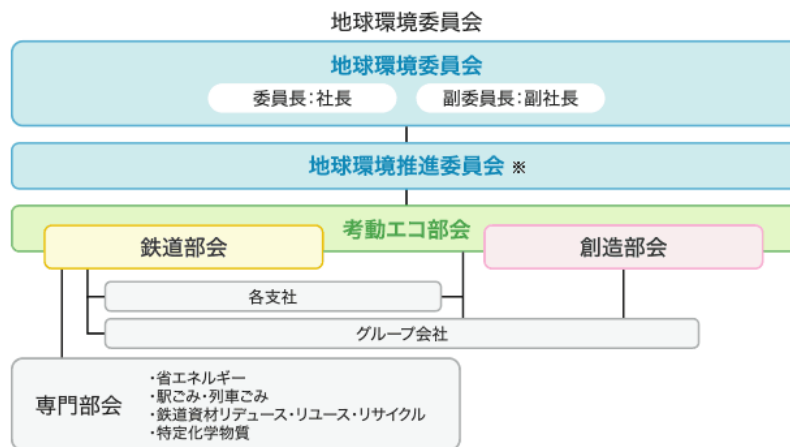


推進責任者
執行役員
鉄道本部
イノベーション本部長
久保田 修司

地球環境保護活動の推進体制

JR西日本では、地球環境保護は企業の社会的責任であるとの認識のもと、JR西日本グループ全体で積極的に取り組むため、「地球環境問題に対する基本的な考え方」を定め、社長を委員長とした「地球環境委員会」を設置しています。地球環境委員会は、代表取締役、業務執行取締役、本社内執行役員、及び技術理事等で構成しており、さらには、2名の常勤監査役がオブザーバーとして出席し、さまざまな地球環境問題に関する対応方針、実施計画、目標設定等を審議しています。

また、環境目標の達成に向けた具体的な取り組みを部門ごとに推進するため、「鉄道部会」（鉄道事業部門）、「創造部会」（ホテルや物販飲食等の創造事業部門）、「考動エコ部会」（JR西日本グループ全体）の3つの部会を設置するとともに、お客様に一番近い現場の取り組みを支援・指導する支社等においても、支社長等を委員長とする「支社等地球環境委員会」を設置し、現場の環境マネジメントシステムの推進に重点を置き、取り組みを進めています。



※地球環境推進委員会は必要の都度、開催しています。

委員会および部会	具体的な取り組み内容
地球環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題に対する会社方針の審議 (事務局：全社的な取組計画の策定・推進,教育・指導)
鉄道部会	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道部門における取り組みの推進 ・鉄道系グループ会社の取り組みを推進 ・支社等地球環境委員会の支援
省エネルギー専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・列車運転用エネルギーの削減 ・オフィス等の消費電力の削減 ・駅・ビル等の設備電力の削減
駅ごみ・列車ごみ専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・駅ごみ,列車ごみの削減とリサイクル率向上 ・駅,列車で販売する容器,内容の見直し,推進 ・定期券,切符類のリサイクル
鉄道資材リデュース・リユース・リサイクル専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道資材のリサイクル率向上 ・各種製品のリデュース・リユース・リサイクルの推進
特定化学物質専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・有害物質使用量削減 ・特定化学物質の移動排出量の届出 ・PCBの適正保管と特措法に基づいた届出および適正処理
考動エコ部会	<ul style="list-style-type: none"> ・社員が自ら考え,自ら具体的な省エネ,省資源の実践行動を展開する「考動エコ」の全社的な取り組みの推進 ・各部会等との連携した取り組みの推進 ・鉄道部会及び創造部会に主管部を持たないグループ会社の取り組みを推進
創造部会	<ul style="list-style-type: none"> ・創造部門における取り組みの推進 ・創造系グループ会社の取り組みを推進